

青潮対策を軸とした三番瀬 保全・再生プランづくりのための調査・研究

〒272-0111
千葉県市川市妙典6-10-28-303
電話:047-358-6233
E-mail:npo-sanbanze@outlook.jp
http://www.sanbanze.com



ひろげる助成

2年目

調査研究



モニタリング調査、水中の酸素濃度を計測

モニタリング調査 8回

収集した生物の標本 約8,000個

今年度計画の達成度 70%

活動の全体目標に対する達成度 55%

苦労した点と工夫した点



■ 苦労した点

水質と底生生物、底質をモニタリングしているが、調査データの精度を確保するために熟練したスタッフが必要。人材育成が課題だ。

■ 工夫した点

調査忘れ、もれがないよう、チェックシートを作った。

課題

東京湾奥の干潟・三番瀬が抱える課題と、再生の方向性を多くの人と共有し、再生計画と利用ルールをつくり、1日も早く三番瀬再生の取組みをスタートしたい。

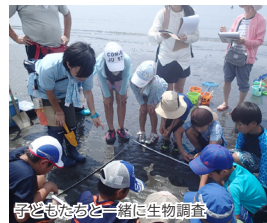
目標

モニタリング調査で、正確かつ検証可能なデータを得る。収集したデータをさまざまな手段で広く情報発信して、三番瀬再生の機運を高める。

活動内容と成果

三番瀬海域の環境変化(特に無酸素水塊の生成と青潮発生について)を把握するために、水深の違う2地点で、年間4回ずつ、底生生物と水質(特に溶存酸素)のモニタリング調査を実施した。調査で得た知見や、三番瀬の現

状を、科学的にわかりやすく説明し、理解してもらうために、ワークショップや体験活動のプログラムを作り、小学生親子らに実施した。より効果的な体験学習プログラムを開発するため、ユニークなワークショップを提供している団体との交流、連携を図った。



子どもたちと一緒に生物調査

今後の展望

モニタリング調査などで集めた知見や問題点を、多くの人に伝え、共感してもらうために、広報力を高める必要がある。SNSの利用や、イベントの開催・参加など、あらゆる機会をとらえて情報発信をしていきたい。